

外国語科学習指導案

学校名 海田町立海田西中学校
授業者 山本 竜也 (ベーシック)
中川 由佳 (アドバンスト)

- 1 日時 平成29年6月21日(水) 第5校時
- 2 学年 第2学年2組 ベーシックコース 男子9名 女子9名 計18名
アドバンストコース 男子5名 女子10名 計15名
- 3 単元名 Program3 What Can We Do for Others (Sunshine English Course2)
- 4 単元について

(1) 単元観

本単元は、チャリティー活動への参加が題材となっており、中学生の武史とリサが世界のチャリティーイベントについて情報を集め、自分たちにもできることはないかと考えた末に、古い本やCDを売って、慈善団体に寄付することを考えていくという内容である。

本校の生徒は、近隣と協力しながらペットボトルキャップを集める活動を行ったり、休日に地域の清掃活動に参加するなど、地域への関心が高い。そこで本単元を通して、今現在自分たちがしなければならない事やする必要がないことを整理し、10年後のわが町「海田」を考える。

本単元の新出言語材料は、義務や命令について述べる must、必要性や義務を表す have to、及び接続詞 that を用いて自分がどう思うかを表す think that の文である。義務や自分の考えなどについて言うことはコミュニケーション場面では大切なことであり、コミュニケーションの幅が広がることを期待できるとともに、それらを積極的に相手に伝えようとする態度を育成することができる単元である。

(2) 生徒観

本生徒は、習熟度別編成で学習をしている。5月に行った「基礎・基本」定着状況調査のプレテストでは、自分の考えをできるだけ簡潔にわかりやすく書くこと、また分かるところまででも書いて表現する指導を継続して行ってきた結果、無回答率は0.1%となり、自分の考えを表現する姿勢につながっている。さらに、事実や意見を述べた後には、その感想であったり、根拠を書くように指導しており、より実践的なコミュニケーション力を身につけさせる取組を行っている。一方で、適切な質問を考え英文を書く問題では、通過率が62.5%にとどまった。さらに、まとまりのある英文を読んで、その内容をまとめる英文を書く問題の通過率は53.1%であり、必要な情報を探し出し、その上で適切な文を書く力に課題があると考えられる。

生徒アンケートでは、「英語を使って、外国の人と交流してみたいと思う」と肯定的な回答は67.2%となっており、英語を学ぶ必要性は感じているものの、英語を使って自分の考えや意見を発信することに意義を見つけれられていないのが現状である。

(3) 指導観

本単元で学習する義務などを表現する must, have to は、否定文にした場合の意味の違いに気付けさせるように指導していく。自分の考えを表現する think は、様々な場面で使用する機会を設ける。本文を学習し、チャリティーについて学んだ後、まとめとして、海田町でできるチャリティーイベントや、世界で起きている諸問題について自分の考えを述べる活動を単元のまとめとして計画していく。12月に予定されている修学旅行では海外からの留学生との交流が予定されており、その中で海田町をアピールする場面を設定する。そのためには、この単元を通して海田町の現状を知り、良いところや改善点を考えていく。

本時は、相手の説明から必要な情報を聞き取り、それに対して自分の考えを表現することを目的に、こうあってほしい「10年後の海田町」についてのプレゼンを行う。ベーシックコースでは、聞き取るポイントを与えることで正確に情報を聞き取る。その後、自分がよいと思ったグループを I think を使って表現し、グループで意見を共有する。アドバンストコースでは、自分たちがどのような表現を使ってプレゼン原稿を作成したかを思い出させることで、聞き取りポイントに気づかせ、必要な情報を聞き取る。その後、I think を使って、自分がよいと思ったグループと

それに関する意見や感想を書かせ、グループで共有する。どちらのコースも意見を共有した後、個人で他のグループへのアドバイスを付箋に書かせ、模造紙に貼っていく。それを参考にしながら、次時の授業でグループごとに町長への提言をまとめる。

5 単元の目標

- ① **must** や **have to**～を使って義務や必要性について説明できる。
- ② **I think that**～の文を使って自分の考えを伝えることができる。
- ③ こうであってほしい「10年後の海田町」について、その根拠を明らかにしプレゼンできる。

6 単元の評価規準

ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ. 外国語表現の能力	ウ. 外国語理解の能力	エ. 言語や文化についての知識・理解
①与えられたテーマについて、間違いを恐れずに、積極的に自分の考えを友達に伝えあっている。	①自分たちがしなければならない事やする必要のないことなど、自分の考えを書いたり話したりできる。	①まとまった文章を聞いたり読んだりして概要や要点を理解している。	① < must +動詞の原形 > を用いた文の構造を理解している。 ② < have to / don't have to +動詞の原形 > を用いた文の構造を理解している。 ③ < 人+ think (that) ～ > を用いた文の構造を理解している。

7 本単元において育成しようとする資質・能力

本校で育成したい資質・能力は、①知識・情報②主体性③課題発見・解決力④チャレンジ精神⑤自らへの自信の5つである。そのうち、本単元で重点的に指導したい資質・能力は次の3つである。

育成したい資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿
主体性	自分の考えや意見を書いたり話したりして自ら発信しようとしている。
自らへの自信	既習の文法事項を用いながら、まとまりのある英文を書き、10年後の海田町についてプレゼンしようとしている。
チャレンジ精神	自分の考えや感想を積極的に伝え、表現しようとするチャレンジ精神

8 指導と評価の計画（全10時間）

時	学習内容	評価				
		関 心	表 現	理 解	知 識	
0	課題の設定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>中学生が考える！こうであってほしい「10年後の海田町」 約29,000人が生活をしている海田町。10年後の海田町はどうなっているのだろうか。 学校、交通、生活、遊びの4つの分野において、「10年後の海田町」を考え町長に提 言しよう。</p> </div>					
	○10年後、時代はどうな っているか調べてく る。 ○海田町の現状を把握す る。					
1	情報の収集 must や have to の文構造 ・意味・用法を理解する。					○ <must+動詞の原形> ○ <have to / don't have to +動詞の原形> を用いた文の構造を理解している。 (ワークシート)
2	think (that)~ の文構造 ・意味・用法を理解する。					○ <人+think (that)~> を用いた文の構造 を理解している。
3	4つ(学校・交通・生活・ 遊び)のカテゴリーに分け 10年後の海田町の様子を ポスターで表現する。	○				・与えられたテーマについて、間違いを恐れず に、積極的に自分の考えを友達に伝えあっ ている。(ワークシート)
4	整理・分析 カテゴリーごとに、海田町 で現在しなければならないことや、する必要のない ことを整理する。		○			・自分たちがしなければならない事やする必 要のない事など、自分の考えを書いたり話し たりできる。(ワークシート) ★自分の考えや感想を積極的に伝え、表現し ようとしている。(ワークシート)
5	こうであってほしい「10年 後の海田町」についてその 根拠を明らかにしながら プレゼン原稿を作成する。		○			・自分たちがしなければならない事やする必 要のない事など、自分の考えを書いたり話し たりできる。(プレゼン原稿) ★自分の考えや感想を積極的に伝え、表現し ようとしている。(プレゼン原稿)

6 【本時】	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>「10年後の海田町」をプレゼンする。</p>	○			<p>・与えられたテーマについて、間違いを恐れずに、積極的に自分の考えを友達に伝えあっている。(プレゼン)</p> <p>★既習の文法事項を用いながら、まとまりのある英文を書き、10年後の海田町についてプレゼンしようとしている。(プレゼン)</p>
7	<p>振り返り</p> <p>他のグループからのアドバイスも参考に、グループで「10年後の海田町」についての提言をまとめる。</p>	○			<p>・与えられたテーマについて、間違いを恐れずに、積極的に自分の考えを友達に伝えあっている。(行動観察)</p>
8	<p>Program 3-1 の本文の内容を理解する。</p>			○	<p>・まとまった文章を聞いたり読んだりして概要や要点を理解している。(ワークシート)</p> <p>★自分の考えや意見を自ら発信しようとしている。(ワークシート)</p>
9	<p>Program 3-2 の本文の内容を理解する。</p>			○	<p>・まとまった文章を聞いたり読んだりして概要や要点を理解している。(ワークシート)</p> <p>★自分の考えや意見を自ら発信しようとしている。(ワークシート)</p> <div data-bbox="842 1243 1433 1579" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>★「深い学び」を実現した生徒の姿</p> <p>Students <u>have to</u> go to school every day. But they <u>don't have to</u> use their books. They <u>must</u> use a tablet</p> <p>のように、現状と10年後を意識しながら英文が書ける。</p> </div>
10	<p>Program 3-2 の本文の内容を理解する。</p>			○	<p>・まとまった文章を聞いたり読んだりして概要や要点を理解している。(ワークシート)</p> <p>★自分の考えや意見を自ら発信しようとしている。(ワークシート)</p>

9 本時の学習

(1) 本時の目標

Kaita after ten years を提言し、自分の考えを述べる

(2) 観点別評価規準

与えられたテーマについて、間違いを恐れずに、積極的に自分の考えを友達に伝えあっている。

(3) 準備物

ワークシート、付箋、模造紙

(4) 学習の展開 (アドバンスト)

	学習活動	指導上の留意事項 ★支援を要する生徒への手立て	評価規準 教科の指導事項(○) 資質・能力(★) (評価方法)
導入 (5分)	1 あいさつをする。 2 English Song 3 前時の想起をする。	これまでの学習課題を整理する	

展開	4 本時の目標を確認する。(2分)	・学習課題のポイントを簡単に説明する。 「10年後の海田町」をプレゼンし、自分の考えを述べる。	
	5 グループで提言の内容を確認する。(3分)	・発表の際に用いる表現について確認する。 ・発表の際の言い方、発表の順番、評価の方法を確認する。 ・ルールの提示、説明 ・発表の流れの提示、説明	○与えられたテーマについて、間違いを恐れずに、積極的に自分の考えを友達に伝えあっている。 ★既習の文法事項を用いながら、まとまりのある英文を書き、10年後の海田町についてプレゼンしようとしている。 (プレゼン)
	6 他のグループと交流する。	・各グループの班員が別の班へ移動する。 ・聞き取りに必要なポイントを気づかせる。 Listening point: ① have to, must ② don't have to ③ must not ④ others	
		・しなければならない事や、する必要のないこと、してはいけないことに気をつけて聞き取りをすれば分かりやすいね ・メモを取りながら聞く必要があるね。 ・伝わるようにプレゼンしよう。	
7 個人で振り返りを行う。 8 振り返りを共有する。 9 気づきを交流する。	・聞き取った内容をもとに個人でどのグループの提言が良かったかを think を用いて、自分の感想を交えて表現する。 ・グループの中で、どの提言が良かったかを発表する。 ・各グループへのアドバイスを付箋に記入し、気づきを交流する。		
まとめ	10 本時のまとめを確認する。	・次の時間の展開の予告をする。 ・自己評価カードに記入する。	

(5) 板書計画

Wednesday, June twenty-first, sunny	
Today's goal 「10年後の海田町」をプレゼンし、自分の考えを述べる	
listening point: ① have to, must ② don't have to ③ must not ④ others	<p>★Let's write</p> <p>I think group()'s idea is good.</p> <p>It will be fun.</p>
	<p>★付箋に書くこと</p> <p>・良かったところ</p> <p>・改善点</p>

(4) 学習の展開 (ベーシック)

	学習活動	指導上の留意事項 ★支援を要する生徒への手立て	評価規準 教科の指導事項(○) 資質・能力(★) (評価方法)
導入	1 あいさつをする。 2 English Song 3 前時の想起をする。	これまでの学習課題を整理する	
展開	4 本時の目標を確認する。	・学習課題のポイントを簡単に説明する。 「10年後の海田町」をプレゼンし、自分の考えを述べる。	
	5 グループで提言の内容を確認する。	・発表の際に用いる表現について確認する。 ・発表の際の言い方、発表の順番、評価の方法を確認する。	○与えられたテーマについて、間違いを恐れずに、積極的に自分の考えを友達に伝えあっている。 ★既習の文法事項を用いながら、まとまりのある英文を書き、10年後の海田町についてプレゼンしようとしている。(プレゼン)
	6 他のグループと交流する。	・各グループの班員が別の班へ移動する ・聞き取りに必要なポイントを確認する listening point: ① have to, must ② don't have to ③ must not	
	・しなければならないことや、する必要のないこと、してはいけないことに気をつけて聞き取りをすれば分かりやすいね ・メモを取りながら聞く必要があるね。 ・伝わるようにプレゼンしよう。		
7 個人で振り返りを行う。 8 振り返りを共有する。 9 気づきを交流する。	・聞き取った内容をもとに個人でどのグループの提言が良かったかを think を用いて、自分の感想を交えて表現する。 ・グループの中で、どの提言が良かったかを発表する。 ・各グループへのアドバイスを付箋に記入し、気づきを交流する。		
まとめ	10 本時のまとめを確認する。	・次の時間の展開の予告をする。 ・自己評価カードに記入する。	

(5) 板書計画

Wednesday, June twenty-first, sunny	
<p>Today's goal 「10年後の海田町」をプレゼンし、自分の考えを述べる</p> <p>listening point: ① have to, must ② don't have to ③ must not</p> <p>★Let's write I think group()'s idea is good. It will be fun.</p>	<p>★付箋に書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良かったところ ・改善点

文法のまとめ

must + 動詞の原形 「～しなければならない」

I () () my grandfather. (私はおじいちゃんを手伝わなければならない。)

have to + 動詞の原形 「～しなければならない」, 否定文では「～する必要はない」

I () () get up at five, but you () () () up so early.

(私は5時に起きなければなりません, あなたはそんなに早く起きる必要はありません。)

must not + 動詞の原形 「～してはいけない」

You () () swim here. (ここで泳いではいけません)

I think that 主語+動詞 「私は～と思います。」

I () that your idea is good. (私はあなたの考え良いと思うよ)

★Kaita after ten years

Topic ()

★Let's listen

↓ listening point ↓	Group()	Group()	Group()
others			

★Let's write

Self-Evaluation in Today's Class 自己評価をしてみよう！

1	ペア, グループで協力できた	Excellent	Good	So-so	Terrible
2	英語らしい発音を意識できた	Excellent	Good	So-so	Terrible
3	Eye-Contact を意識して話げできた	Excellent	Good	So-so	Terrible
4	挙手・発表ができた	Excellent	Good	So-so	Terrible
5	リアクション表現を使うことができた	Excellent	Good	So-so	Terrible
6	わからないことが分かるようになった	Excellent	Good	So-so	Terrible

Program 3 What Can We Do for Others Class() No.() Name()

学習の目標：「10年後の海田町」をプレゼンし、自分の考えを述べる（ベーシック）

文法のまとめ

must + 動詞の原形 「～しなければならない」

I () () my grandfather. (私はおじいちゃんを手伝わなければならない。)

have to + 動詞の原形 「～しなければならない」、否定文では「～する必要はない」

I () () get up at five, but you () () () up so early

(私は5時に起きなければなりません、あなたはそんなに早く起きる必要はありません。)

must not + 動詞の原形 「～してはいけない」

You () () swim here. (ここで泳いではいけません)

I think that 主語+動詞 「私は～と思います。」

I () that your idea is good. (私はあなたの考え良いと思うよ)

★Kaita after ten years

Topic ()

★Let's listen

↓ listening point ↓	Group()	Group()	Group()
have to must			
don't have to			
must not			

★Let's write

Self-Evaluation in Today's Class 自己評価をしてみよう！

1	ペア, グループで協力できた	Excellent	Good	So-so	Terrible
2	英語らしい発音を意識できた	Excellent	Good	So-so	Terrible
3	Eye-Contact を意識して話げた	Excellent	Good	So-so	Terrible
4	挙手・発表ができた	Excellent	Good	So-so	Terrible
5	リアクション表現を使うことができた	Excellent	Good	So-so	Terrible
6	わからないことが分かるようになった	Excellent	Good	So-so	Terrible